



令和7年度

地域区民ひろば推進本部会議

令和8年2月19日

令和7年 地域区民ひろば推進本部 委員構成

本部長 副区長 天貝 勝己

副本部長 区民部長 藤田 力

本部長 福祉部長 猪飼 俊夫

子ども家庭部長 活田啓文

幹事 政策経営部 企画課・SDGs未来都市推進担当課長 宮本 敦史

総務部 防災危機管理課長 小嶋 浩一

区民部 区民活動推進課長 田邊 栄一

地域区民ひろば課長 小倉 桂

文化スポーツ部 生涯学習・スポーツ課長 小野 義夫

福祉部 福祉総務課長 小林 拓

高齢者福祉課長 今井 有里

障害福祉課長 池田 高志

子ども家庭部 子ども若者課長 安達 絵美子

子育て支援課長 坂本 利美

子ども家庭支援センター長 山本 りか

保育課長 渡邊 明日香

教育委員会事務局 教育部放課後対策課長 村山 康介

指導課長 鈴木 恭子

学校支援担当課長 關田 恭平

豊島区民社会福祉協議会共生社会課長 田中 慎吾

次第

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

- ①高齢者部会 (資料番号1-1)
- ②子育て部会 (資料番号1-2)
- ③CSW部会 (資料番号1-3)
- ④安全安心部会 (資料番号1-4)

質疑応答

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

①高齢者部会 (資料番号1-1)

②子育て部会 (資料番号1-2)

③CSW部会 (資料番号1-3)

④安全安心部会 (資料番号1-4)

質疑応答

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

- ①高齢者部会 (資料番号1-1)
- ②子育て部会 (資料番号1-2)
- ③CSW部会 (資料番号1-3)
- ④安全安心部会 (資料番号1-4)

質疑応答

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

- ①高齢者部会 (資料番号1-1)
- ②子育て部会 (資料番号1-2)
- ③CSW部会 (資料番号1-3)
- ④安全安心部会 (資料番号1-4)

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶

区民ひろば推進本部会議とは？

地域区民ひろば推進本部設置要綱

(目的・設置)

第1条 **地域区民ひろば構想の実現に向け、各所管部局との調整及び連携強化を図り、効率的かつ効果的な施設運営等を推進する**ため、地域区民ひろば推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 本部は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 施設運営等の検討及び実施に関すること
- (2) 実施体制の整備に関すること
- (3) 部局間の調整に関すること
- (4) その他区長が特に必要と認めて付託した事項

今年度の方向性

推進本部会議は各部局と区民ひろばの調整と連携強化の場

区民ひろば側としても、積極的に議論をしていきたい。

今年度は、部局と区民ひろばがお互いに感じていることを

テーマを軸に、話し合うことに重点をおきたい。

各部会について

1. 高齢者部会
2. 子育て部会
3. **CSW**部会
4. 安全安心部会

豊島区地域区民ひろば推進本部会議
高齢者部会

高齢者部会のテーマ

- ① 高齢者のデジタルデバイド解消
- ② 職員の意識向上（DXの基礎理解）

目的

高齢者の健康寿命延伸や生活支援のため、デジタルデバイド解消・職員の意識向上を進める。

現状の状況・課題

- ・ ソフマップのスマホ教室を年間**129**回予定。企業協定は今年度のみ（来年度以降未定）。
- ・ 所有率：**70代は8割超**。**80代後半～90代は未保有が多く**、今後も導入意向が低い層がいる。
- ・ 利用ニーズは電話・ネット検索が主。**LINE利用は低い**。写真保存など実用的なニーズあり。
- ・ 学生ボランティア等での開催は不安定（担当人数にムラ）。機種差対応や個別相談の体制が必要。
- ・ 講座後のフォロー（店頭相談・電話相談）があるがハードルが高い。自治体内でのアフターフォロー体制未整備。
- ・ 高齢者の生活実態（独居など）を踏まえ、スマホ活用支援の意義は高い。

主な議論点

- ・ どの層に、どの程度の深さで広げるべきか（広く浅く vs 継続してできる人を育てる）。
- ・ 企業（ソフマップ）との関係：物販やチラシ掲示の取り扱い。無償協力と企業活動のバランス。
- ・ フレイル機器や入館QRコードなど、日常で触れるデジタルへの慣れを促進する方策。
- ・ 職員が回答できるようなアフターフォロー（社内での情報共有・研修）の必要性。
- ・ 2回目までにニーズ把握をまとめ、実のある会議にする（10月末を想定）。

1.今年度の主な取組と成果

- ・ 区民ひろばを会場に、**ソフマップ**等と連携したスマホ教室を実施
- ・ 70代のスマホ保有率は8割を超えており、
「未所持」よりも「使いこなせない」層への支援が中心課題
- ・ 店舗型教室と比べ、区民ひろばという身近な場だから参加できるという声が多い
- ・ **入館システムの導入**により、登録利用者の可視化が進行
(12月末時点で約40万人が利用)

2.議論から見えた課題

- ・ スマホ教室は **リピーターが多く**、新規利用者の掘り起こしが難しい
- ・ 求められているのは「高度な操作」ではなく、
日常的な基本操作 + **心理的な安心感**
- ・ **金銭・個人情報に関わる支援の線引きが現場で曖昧**
- ・ **事業が点在しており、区民から見ると全体像が分かりにくい**

3.今後の方向性（案）

- ・ スマホ教室を単発ではなく、**全区民ひろばで網羅的に実施**
⇒ソフマップ以外にも学生ボランティアなどがある
- ・ **実施主体を問わず**、「区内スマホ教室一覧」として**一体的に周知**
⇒ソフマップ、東京都、学生ボランティアなど
- ・ **健チャレのアプリ**化や**公式LINE**等、特定アプリに特化した操作説明を関係課と連携して実施
- ・ テーマに応じて地域保健課など関係所管の部会参加を柔軟に検討

豊島区地域区民ひろば推進本部会議
子育て部会

子育て部会のテーマ

誰でも参加できる
子どもの
クリエイティブ体験の
機会創出



目的

子ども・子育て支援を現場視点で議論し、ひろば等と連携して効果的な施策をつくる。

現状の状況・課題

- ・ 部会再編により関係課が増加。報告中心から議論中心への転換を目指す。
- ・ 「くりらぼ（STEAM系）」等、子どものデジタル／創造体験の場を6ひろばで実施。
- ・ 小学生の居場所ニーズが増加（放課後・土日）。
一方で現場スペースや職員体制に限りあり。
- ・ 乳幼児（0～1歳）利用が圧倒的に多く、親の「ゆっくり過ごしたい」ニーズが強い。
- ・ イベント集客（特に小学生向け）での周知課題。情報発信方法（学校一斉送信、すぐーる、QRコード等）の有効活用が重要。
- ・ スキップ等外部団体と連携しているが、人員割振りや出張講師の運用で調整が必要。

主な議論点

- ・ひろばが「子どもの遊び場／居場所」としてどう位置づけられるか（学校との関係性含む）。
- ・高学年・中学生への対応（見守りだけで足りないケースあり）。
- ・イベント周知・募集のチャンネル（学校、すぐーる、QRコード掲示等）の最適化。
- ・補助金終了後の継続性（3年後の予算持続性）への懸念。

1.今年度の主な取組と成果

- ・区民ひろばを活用した「**クリエイティブ体験事業**」を実施
(くりらぼ、バーチャルとしまプロジェクト)
- ・小学生向けは一定の集客があったが、**小学校高学年～中学生層の参加が課題**
- ・**夏休み期間は参加率が高い**が、9月以降は減少傾向
- ・全5回など**連続型プログラムは参加の継続率が高い**
- ・iibaの区民ひろば導入

2.議論から見えた課題

- ・周知が「**保護者止まり**」になり、**子ども本人に届いていない**
- ・**学校配布チラシは現場負担が大きく、全校配付は困難**
- ・事業数が多くなる一方で、**一つひとつの質・集客に課題**
- ・**区民ひろば＝児童館**というイメージが根強く、**中間層に届いていない**

3.今後の方向性（案）

- ・量より質を重視し、モデル事業・試行実施を通じた検証型運営へ
⇒継続する事業、新規事業を選別
- ・スキップ等との連携による
「**まずは学校内で実施**→ひろばにつなぐ」動線づくり
⇒例えば、4回のうち1回はスキップにて実施など
- ・iibaアプリやボシモなど、反応の良い媒体に**周知を集約**
⇒未就学児をメインに集客
- ・保護者目線だけでなく、**子どもが「やりたい」と思う**
企画設計への転換

豊島区地域区民ひろば推進本部会議
CSW部会

CSW部会のテーマ

ウェルビーイングデータを活用した
地域コミュニティの可視化

目的

ウェルビーイングデータを活用して地域コミュニティを可視化し、CSW（Community Social Worker）と連携した支援を強化する。

現状の状況・課題

- ・東京都連携でウェルビーイング調査を実施、ダッシュボードで可視化。現状はひろば利用者中心のデータに偏りがある。
- ・ひろばごとにコミュニティの性質が大きく異なる（町会色が強い場所、リピーター主体の場所、若年層が入りにくい場所など）。
- ・CSWが不在のひろばでは対応の難しさがある。成功事例の共有が不足。

主な議論点

- ・ コミュニティの定義と可視化のスケール（小学校区・圏域など）。
- ・ ひろば利用者以外の住民データをどう取り入れるか（偏りの是正）。
- ・ 排他性（既存コミュニティの閉鎖性）をどう克服するか。
- ・ キーマン（町会長、商店街会長等）との連携。
- ・ 成功事例の横展開と職員向け学びの場（事例共有・研修）の必要性。

1.今年度の主な取組と成果

- ・ **ウェルビーイングデータを用いたコミュニティの可視化**
を実施
- ・ アンケートに加え、3か所の区民ひろばで**エスノグラフィー調査**を実施
- ・ **データを「結論」にせず、現場感覚と組み合わせて活用**
- ・ ひろば要では、全職員参加のWSを実施し、CSWとの協働の可能性を確認

2.議論から見えた課題

- ・ひろばごとにCSWとの関係性に差がある
- ・南大塚では外国人住民の増加が顕著で、相談・交流の場が不足
- ・CSW事業がひろば側に十分共有されておらず、連携機会を逃しているケースも

3.今後の方向性（案）

- ・ データを活用し、「**どこで**」「**どのテーマを重点化するか**」を戦略的に設定
- ・ 来年度は
南大塚：多文化共生
要：福祉のプラットフォーム の2軸でモデル的に展開
- ・ 部会へ多文化共生課等、テーマに応じた所管課の参画を検討
- ・ 「福祉らしくない」スポーツ・ゲーム等を通じた自然な交流の場づくり

豊島区地域区民ひろば推進本部会議
安全安心部会

安全安心部会のテーマ

防災意識の向上と

「平時を楽しみ、有事に備える」



目的

区民ひろばが地域防災の要となることを目指し、「平時を楽しみ、有事に備える」を軸に防災力を高める。補助救援センター等の役割整理や訓練・研修の見直しを行う。

現状の状況・課題

- ・基本計画・構想が新しく、全庁体制で防災を進める流れ。
9/2の全庁防災訓練など実施。
- ・補助救援センターのエリア・設定が現場と合わない箇所あり。
区民ひろばが救援対応する可能性が高いが設備面で課題。
- ・スフィア基準等の基準改定（2030年に向けた居住基準）により
避難所スペース確保が必要。
- ・運協（運営協議会）、NPO・直営施設の混在により、マニュアルや意識
共有が難しい。
- ・若年層の訓練参加促進や、災害時に配慮が必要な人（乳幼児・要介護者・
聴覚障害等）への備えが不足。

主な議論点

- ・ 区民ひろばの「救援センター」や「避難所」の位置づけ（何を担うか）。
- ・ マニュアルの簡素化（誰でも開設できる体制）と、その可否。
- ・ 物資・人員配置の現実的な運用（運協が避難者になるケース等の想定）。
- ・ コミュニティスクール等学校との連携、地域キーパーソンの巻き込み。
- ・ 訓練のあり方（イベント的な訓練→実効性ある訓練、若年層参加の仕組み作り）。

1.今年度の主な取組と成果

- ・日本笑顔プロジェクトと連携し、「**平時を楽しみ、有事に備える**」を共通テーマに設定
- ・区民ひろばを地域防災の拠点として捉え直し、**職員の意識・行動**の見直しを行った
- ・重機講習や研修を通じて、**防災を「自分事」として捉える意識**自分に何ができるかを考える視点が職員の中で醸成された
- ・マニュアルでは伝わらない判断力・行動力の重要性が共有された各区民ひろばで訓練を実施したことで、設備、人員体制、利用者の認識など、**現場でしか見えない課題が顕在化**した

2.議論から見えた課題

- ・ マニュアルが複雑で、所長不在時や閉館時間帯の対応に不安が残る
NPO・直営の違いにより、**実際にどこまで同一対応が可能か**
が曖昧発災時、・入館システム・タブレット・ネット環境が機能するの
か不透明
- ・ **利用者**の中には「**災害時は区民ひろばに行けばよい**」と
認識している人も多く、**救援センターとの役割分担**が十分に
伝わっていない
- ・ **職員の高齢化、体力面の課題、支援員・会計年度職員への
研修不足も指摘された**

3.今後の方向性（案）

- ・大規模・一斉型の訓練よりも、**小さくても繰り返し行う訓練**の方が有効。「決め打ち」ではなく、**実際にやってみて、気づき、修正**するプロセスを重視。
- ・HKCは「指定避難所」ではなく、**自主的に運営される場**であることを、平時から伝える必要性。指揮系統を明確にし、迷わず動ける体制づくりが不可欠

⇒ **各ひろばでの訓練内容・気づきを集約し、**
簡素で実践的なマニュアル作成

- ・学校等との連携を視野に入れ、**子どもがいる時間帯の発災対応**について具体化
⇒中高生を「守られる側」だけでなく、担い手として関われる可能性

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

①高齢者部会 (資料番号1-1)

②子育て部会 (資料番号1-2)

③CSW部会 (資料番号1-3)

④安全安心部会 (資料番号1-4)

質疑応答

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶

区民ひろばアンバサダーキャラクター誕生！

富月一乃さんデザインの区民ひろばアンバサダーキャラクターが誕生しました。
名前の募集と投票も行いました。区民ひろばアンバサダーのHARMONICSによる
イメージCVの映像も公開中しています。



左から
染井さくら(イメージCV仲崎志織)
日々木みどり(イメージCV屋代瑠花)
出水あおい(イメージCV古賀紗理奈)
黄瀬ひまり(イメージCV一ノ瀬ゆうり)



区民ひろば×ソフマップ スマホ教室

令和7年6月に株式会社ソフマップ、ビックカメラ、豊島区で協定を結びました。
今年度16か所の区民ひろばで、高齢者向けスマホ教室・個別相談会を実施しました。



▲協定式の様子



▲スマホ教室の様子

コミュニティカフェ事業

9月より、常設のカフェとして、区民ひろば南大塚と区民ひろば朝日にて、コミュニティカフェ事業を実施しました。週4日、13時～16時実施で、ロビーなどでふらっと立ち寄って、コーヒーや紅茶、お菓子を楽しむことができます。利用促進のため、アーティストとのイベントを実施しました。



▲カフェの様子

くりらぼin豊島

東京都による子どものデジタル体験の創出事業、とうきょうこどもクリエイティブラボ(くりらぼ)を8~10月に6か所の区民ひろば(区民ひろば池袋・要・長崎・池袋本町・朋有・朝日)で計24回実施しました。小学生を中心に映像や音楽制作のプログラムに参加しました。



▲イラスト制作の様子



▲動画制作の様子



夏休み子どもの居場所事業



夏休み期間の子どもの居場所として、5か所の区民ひろばの区民集会室やひろばの部屋を自習室として開放しました。特別企画として、アーバンスポーツ体験会も行いました。

7/22(火)～8/29(金)

○静かな自習室

- ・区民ひろば西巢鴨第一・区民ひろば朋有
- ・区民ひろば池袋本町・区民ひろば目白
- ・区民ひろば長崎

○特別企画

- ・読んで遊んでえほんの会・アーバンスポーツ体験会・消費者ボードゲーム体験会・おつナビ

子ども参加型芸術体験事業

子どもの芸術体験事業を行いました。8月30日には区民ひろば要でプレ実施として、アート・音楽・ダンスのワークショップを行いました。アクリル板の裏と表で子どもとアーティストが絵を描き、ひとつの作品をつくりました。完成した作品は、区内のカフェやレストランなどに展示しました。バイオリンの演奏体験、ダンスのワークショップも同日に開催しました。



▲アクリル板の裏と表でアーティストとひとつの作品をつくろう！



▲バイオリンの演奏体験

みんなの区民ひろばフェス2025

10月18日にみんなの区民ひろばフェス2025を行いました。今年は青空コンサートとコラボレーションしました。青空のもと、音楽・アート・ダンスのワークショップ、マラカスづくり、大正大学オレンジリボン運動、モルックやサッカー体験などをたくさんの方が楽しんでいました。

@IKE・SUNPARK会場、サンシャインシティ高架下



▲マラカスづくり



▲青空コンサート



▲モルック体験



▲エリス豊島サッカー体験

プロの漫画家から学ぶ イラストワークショップ

区民ひろば朝日にて、区民ひろばアンバサダーキャラクターのデザインをした富月一乃先生による、イラストワークショップを行いました。初心者・上級者向けにそれぞれ実施しました。



▲ワークショップの様子

みんなでつくる！ バーチャルとしまプロジェクト

オンライン上で離れていてもつながることができるバーチャルとしまを参加者が作成しました。全5回のプログラムで2か所の区民ひろばで実施しました。



音楽キャラバン 回遊音楽キャラバン

- ◆音楽キャラバン
東京音楽大学生による演奏
@区民ひろば南池袋
- ◆回遊音楽キャラバン
ピアノとバイオリンなどの演奏



つなぐ・つながるひろばのWA! スタンプラリー

今年度も2025年11月1日～12月26日に、各区民ひろばをまわってスタンプを集めるスタンプラリーを行いました。延べ4,545人が参加しました。



施設改修情報

◆区民ひろば南大塚 南大塚2-36-1

いきいき・子育ての玄関がひとつになりました便利になりました。
一階は畳の部屋はなくなり、すべてが絨毯敷きの部屋となりました。
二階は以前同様日当たりが良い広々としたお部屋でのびのび遊ぶことができます。



◆区民ひろば朝日 西巣鴨4-10-12

一番小さな区民ひろばから約5倍の大きさに生まれ変わりました！
1Fロビーはいつでも飲食可能です。
2Fには乳幼児から小学生・中学生のお部屋もあります。



施設改修情報

◆区民ひろば長崎 長崎2-27-18

3階建ての複合施設の中に区民ひろばがあります。
地下の多目的室は全区民ひろばの中で最大級の
広さです！
1階はゆったり過ごせるロビー、2階には日当たり
の良い子育てひろばがあります。



◆区民ひろば池袋本町 池袋本町4-36-1

旧文成小学校に仮移転しました。1階に広めの
ラウンジができました。2階には静かに勉強や
読書ができるワークスペースもできました！
12/13に移転記念イベントを行いました。





施設改修情報



◆区民ひろば高南第二 高田3-38-7

車いす対応のエレベーターが新設されます！

3階は可動式ステージのある広いホールがあります。

独立した授乳室やだれでもトイレもでき、女性トイレが増えます。



令和7年度以降施設改修情報

令和7年度～9年度 施設改修・施設整備スケジュール(令和7年度完了事業を除く)

区分	NO.	施設名	工事概要	令和7年度												令和8年度												令和9年度																				
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
施設経費改修	1	区民ひろば南池袋 (時期未定)	部分改修	※南池小の別棟建築後、スキップがそちらへ移転 ⇒ 空いたスペースを区民ひろばとして拡張する計画 南池小の別棟建築自体が白紙になっているため、今後の方針は未確定																																												
施設整備経費	2	区民ひろば 清和第一・第二	移転改築	埋文(製本)												新築工事												工事:R6年7月～ (R7年12月～中断)																				
	3	区民ひろば池袋本町	解体・仮移転	解体設計			内装工事			移転			解体工事												R7年12月～R8年9月												仮施設運営(本移転先未定)&空調工事											
	4	区民ひろば朝日	移転・リース改築	R6年11月25日竣工 12月17日オープン												令和11年11月分まで支払い																																
	5	区民ひろば池袋	リース改築	R4年12月27日竣工 2月1日オープン												令和9年12月分まで支払い																																
	6	区民ひろば要 (西部生活福祉課 複合施設)	リース改築	R5年3月27日竣工 4月25日オープン												令和10年2月分まで支払い																																
	7	区民ひろば椎名町	移転・リース改築	R4年8月31日竣工 10月1日オープン												令和9年8月分まで支払い																																
	—	区民ひろば仰高、西巢 鴨第一、豊成、上池袋	照明取替													工事																																
	—	区民ひろば西巢鴨第二	屋上・外壁改修													設計												工事																				
	—	区民ひろば高南第一 (幼稚園、スキップ)	屋上改修													設計												工事																				

本部長挨拶

各部会の運営について 地域区民ひろば課長

<案件>

1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について(資料番号1)

- ①高齢者部会 (資料番号1-1)
- ②子育て部会 (資料番号1-2)
- ③CSW部会 (資料番号1-3)
- ④安全安心部会 (資料番号1-4)

質疑応答

2 地域区民ひろば課報告案件(資料番号2)

令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて

副本部長挨拶